

もっと
知^りたい!

京都市

かん きょう

環境れぽーと

2024 (令和6) 年度実績

2025 (令和7) 年度版

豊かな自然を守る取組は広がっている？

自然環境を守るために、できることから チャレンジしてみませんか

チェックを
入れてみよう!

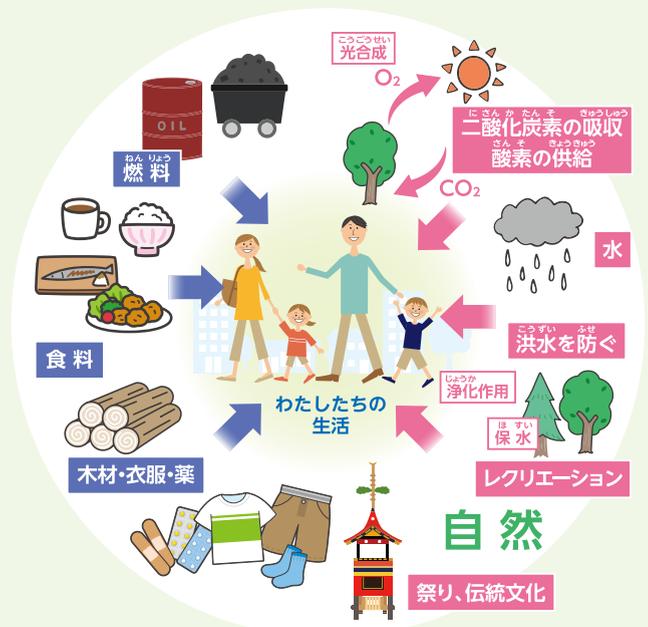


- 京都(地元)でとれたもの、旬のものをなるべく食べる
- 動物園、水族館、植物園へ行き、生きものを観察する
- 川や山、学校などで生きものを見つけて観察する(京の生きもの生息調査)
- 野生の生きものに餌を与えたり、傷付けたりしない
- 山を守る活動に参加する
- 生物多様性のために取り組みたい行動を宣言する(京の生物多様性担い手宣言制度)

私たちの暮らしは、食料、木材、衣服など、生物多様性の恵みにより支えられています。

地域を特徴づける生物多様性の恵みである京都の祭りや伝統文化を支えてきた**生きもの**の**保全**や**再生**に取り組む団体が増えているなど、京都の自然環境を守る取組が広がっています。

私たちの生活と生物多様性の恵み



私たちの生活において、自然からの恵みは、生きものたちの豊かな個性とつながり(生物多様性)があるからこそ、もたらされるものです。

京の生きもの・文化協働再生プロジェクト 取組者数



取組者数は
年々増えて
いるよ

※2022年から個人も
対象に拡充

目標
700者



▶生物多様性を身近に感じていただくために

小学校の授業で自然観察会「地域生きもの探偵団」を30回(2024年度)実施し、生物多様性の大切さを学んでいただきました。また、市民の皆様にはツバメ、セミ、ウグイス等の生息状況を報告してもらい、緑や水辺の豊かさ等を評価する「京の生きもの生息調査」を実施しました。

京都市ホームページ「京・生きものミュージアム」やSNSなどを通じて市民の皆様が楽しく学べるイベントなどの情報を発信していきます。



地域生きもの探偵団のようす



フジバカマとアサギマダラ

京都市文化協働再生

検索

ほかにも身近な暮らしの中で
取り組めることがたくさんあ
ります。

詳しくはこちら▶



地球温暖化を防ぐ取組は進んでいる？

地球温暖化を防ぐために、できることから チャレンジしてみませんか

- 照明をつけっぱなしにしない
- 冷房・暖房の設定温度に気をつける
- 電気自動車などエコカーを使う
- 省エネ性能がより高い家電を選ぶ
- 太陽光など再生可能エネルギーでつくられた電気を使う
- お家に太陽光パネルを取り付ける

チェックを
入れてみよう！

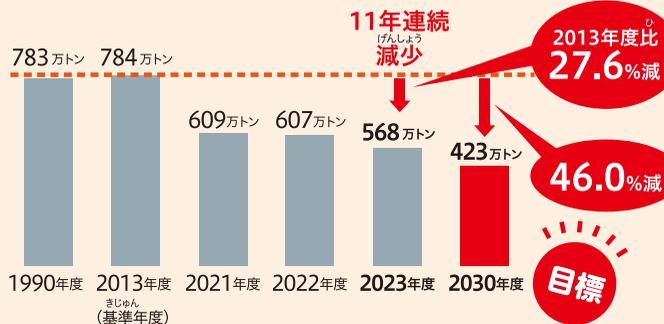
気温上昇を1.5度以下に抑えるためには、早い段階で二酸化炭素を減らす必要があるんだ。



大気中にある、二酸化炭素(CO₂)などの「温室効果ガス」が増えすぎることによって地球が温暖化します。2023年度に京都市で排出された温室効果ガスの量は568万トンであり、**11年連続で減りました**。また、エネルギー消費量は、ピーク時である1997年度と比べて**約3割減りました**。

世界の平均気温の上昇を1.5度以下に抑え、地球温暖化による影響を軽減するため、京都市は2050年二酸化炭素排出量正味ゼロを目指しています。

京都市で排出された温室効果ガスの量

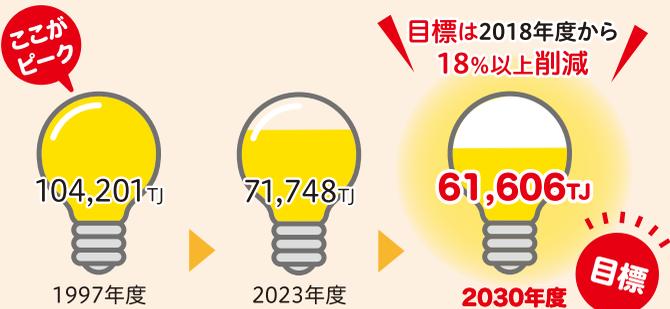


私たちが使う電気、ガス、ガソリンなどのエネルギーの多くは、石炭や石油などの化石燃料から作られており、エネルギーをつくる時・使う時に温室効果ガスが出ます。

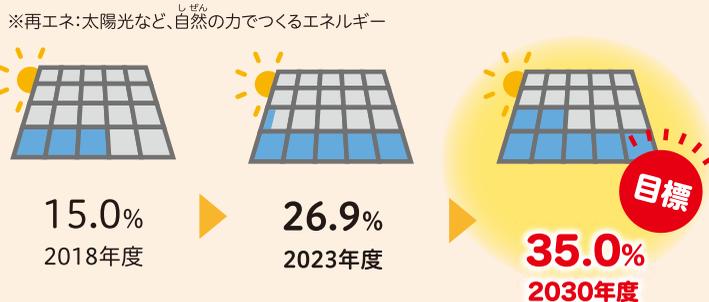
2050年
二酸化炭素排出量
正味ゼロへ
詳しくはこちら▶



省エネ エネルギー消費量



再エネ 消費電力に占める再生可能エネルギー比率

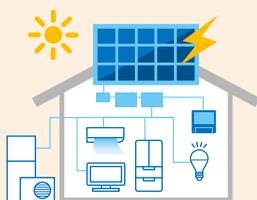


▶2050年CO₂排出量ゼロに向けて

将来に向けたライフスタイル像や、実践していただきたい行動例等を定めました。また、市民の皆様と一緒に行動できる取組を行っています。

また太陽光発電の普及促進に向け、太陽光パネルや蓄電池などの導入を支援する「京都再エネクラブ」(2022年度から開始)や、みんなで買えばお得になる「みんなのおうちに太陽光」などの事業を行いました。

太陽光発電などの
再エネを増やしていこう！



●詳しくはこちら

京都
再エネクラブ



みんなのおうちに
太陽光



ごみの量は減っている?

チェックを入れてみよう!

燃やすごみを減らし、資源を大切に使うために、 できることからチャレンジしてみませんか

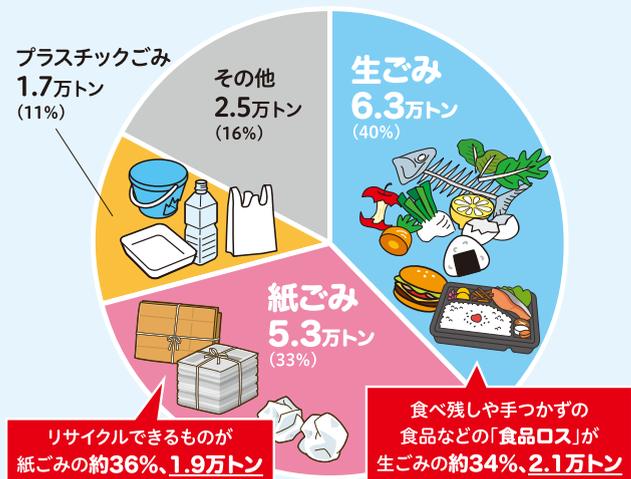
- 食品を買う時は、商品棚の手前から取る(てまえどり)
- 食べられる量だけ買って、まだ食べられるものは捨てない
- 新しく買う前に、借りる(レンタル)、共有する(シェアリング)ことを考える
- マイバッグやマイボトルを使う
- 調理する際の食品の「使いキリ」、食事の際の「食べキリ」、
ごみとして排出する際の生ごみの「水キリ」をする
- もの大切に使い、最後まで使い切る
- フリーマーケットやリユースのお店・サービスなどを利用し、
いらなくなったものは他の人に売る・ゆずる
- ごみを捨てる時は、京都市の分別ルールを守りきちんと分別する



京都市が受け入れているごみの量やその焼却量は、市民・事業者の皆様のご協力により、最も多かった2000年度に比べて半分以上減っており、ごみ処理の経費もピークの平成14年度から129億円削減できています。

しかし、燃やすごみの中には、食べ残しや手つかず食品といった「食品ロス」、リサイクルできる紙ごみやプラスチックごみなどが、まだ多く含まれています。

家庭から出る燃やすごみの内訳



京都市のごみ焼却量



市民の皆様と目指す2030年度の目標

市民1人当たりの家庭ごみの量にすると	
●1日当たりのごみ焼却量 310グラム (2024年度実績:308グラム) 目標達成済み	●1日当たりの食品ロス排出量 38グラム (2024年度実績:40グラム)
●1年当たりのレジ袋使用量 35枚 (2024年度実績:110枚)	●1年当たりのペットボトル排出量 45本 (2024年度実績:90本)

▶食品ロス削減に向けて

2024年度の京都市全体の食品ロスの量は、なんと4.7万吨(家庭:2.1万吨、事業者:2.6万吨)。これは市民全員が毎日小さめのおにぎり1個分のごはんを捨てていることとなります。“もったいない!”食品ロスは環境だけでなく家計にとってもマイナス。京都市のWebサイトで、商品棚の手前の食品から買う「てまえどり」や食品の正しい保存方法、使いきる工夫を楽しく紹介しています。みんなで「もったいない!」をなくしましょう。

家庭(1世帯4人家族を想定)での食品ロスを費用に換算すると年間約60,000円(処理費用を含む)!
もったいない!

「もったいない」を減らす知恵や工夫をご紹介します



大気や河川の水は安心・安全？

チェックを
入れてみよう！

大気や河川の水が安心・安全であるために、できることから チャレンジしてみませんか

- 道や川、池などにごみ(空き缶、ペットボトル、食べ物の袋など)を捨てない
- 自動車はなるべく使わず、自転車やバス、電車を使う
- 道や公園、川などの美化活動に参加する
- 自動車を運転する時は、エコドライブを心掛ける
- 汚れは紙でふき取るなど、なるべく流さないようにする



市民の皆様の健康や豊かな自然を守るために、京都市では国の環境基準よりも厳しい基準(市保全基準)を定めています。

大気や河川の水は、以前に比べ良い状況です。



空気(大気)も水も、みんなの努力で、昔に比べるとずいぶんきれいになってるよ



大気汚染に係る市保全基準達成状況

14地点で合計6項目を測定しました。



目標

水質汚濁に係る市保全基準達成状況

42地点で合計37項目を測定しました。



目標

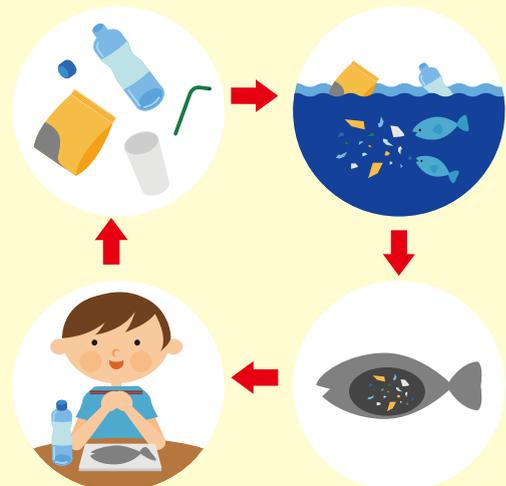
▶プラスチックごみを減らそう

プラスチックごみは、燃やすと二酸化炭素が出て、地球温暖化の原因になります。

また、道路や川などにポイ捨てしたごみが海岸へ漂着したり、海に漂うことで海の環境や観光・漁業などへ影響を与えています。

さらに、プラスチックは、波や風、太陽の光で細かく碎かれると、マイクロプラスチックになります。マイクロプラスチックを動物が飲み込むことで、生態系に影響を受けるとともに、人が魚や貝などを食べて、体に影響を受けることが心配されています。

京都市内の河川においても、令和3年度、4年度にマイクロプラスチック調査を実施し、全ての調査地点でマイクロプラスチックが検出されました。マイバッグやマイボトルを使うなど、使い捨てプラスチックをなるべく使わないようにするとともに、プラスチックごみは適正に分別して排出することが大切です。



マイボトルが利用できるお店や給水等できるスポットはこちら!!



環境のこと、楽しくもっと知りたい!

子どもから大人まで、誰でも気軽に体験しながら、楽しく学べる環境学習施設があります。実際に体験してみよう!

開館時間及び実施プログラム等が変更になる場合がありますので、各施設のホームページ等でご確認ください。



さすてな京都



体験してみよう!

- 巨大なごみピットや迫力あるごみクレーン
- 身近な環境問題を学べる多彩な学習プログラム
- 高さ66mの展望台も!

▼Webサイト  住所 〒612-8253 京都市伏見区横大路八反田29
開館時間 9:00~17:00
休館日 水曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始
※令和8年6月は無休、令和9年1月は水曜日及び木曜日
U R L <https://sustaina-kyoto.jp>

※令和8年2月発行時点
令和8年1月に発生した南部クリーンセンターの火災により、当面の間、休館しています。

京エコロジーセンター

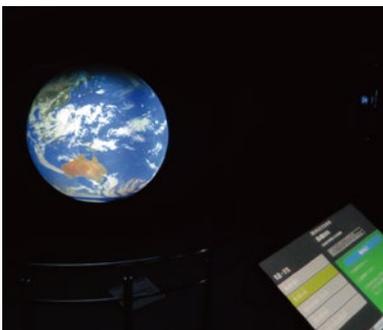


体験してみよう!

- 環境に配慮した暮らしのヒントとなる展示物
- 自分で調べものができる「かんきょう図書コーナー」
- 親子で参加できる楽しいイベント

▼Webサイト  住所 〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13
開館時間 9:00~21:00(1・2F展示コーナーは17:00まで)
休館日 木曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始
U R L <https://www.miyako-eco.jp/>

青少年科学センター

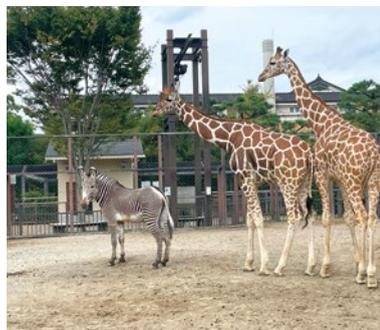


体験してみよう!

- 地球環境を視覚的に学べる「みらい地球儀」
- 化石に触れて生物の進化を学べる「化石トンネル」
- 昆虫の色や姿を見ながら生物多様性を学べる「むしむしワールド」

▼Webサイト  住所 〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13
開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日 木曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始
U R L <https://www.edu.city.kyoto.jp/science/index.html>

京都市動物園



体験してみよう!

- 京都の豊かな自然を伝える「京都の森」
- 動物たちのごはんの様子を観察できる「ごはんですよ〜」を毎週土曜日に開催

▼Webサイト  住所 〒606-8333 京都市左京区岡崎法勝寺町岡崎公園内
開園時間 9:00~17:00(12月~2月は9:00~16:30)
休園日 月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始
U R L <https://zoo.city.kyoto.lg.jp/>

提供:京都市動物園

環境動画による情報発信

京都で今日からはじめるエコなこと。持続可能な生活を楽しむ方法・京都での環境に関するトレンドを動画紹介しています。



京都市 きょうえこ 検索

きょうと生物多様性センター(2023年4月開設)

生物多様性に関する情報の集積や発信、多様な主体のネットワーク化、生物多様性保全の担い手育成などに取り組んでいます。交流オフィスでは、京都の生物多様性の状況や、生物多様性と私たちの暮らし・文化との関わりなどの紹介、生物多様性に関する相談対応などを行っています。

交流オフィス(左京区役所2階 14窓口)

- ▶ 開所日時 月、水、金曜日の13:00~17:00(祝日・休日・年末年始除く)
- ▶ 利用料 無料



京都市環境政策局環境企画部環境総務課

京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地
TEL 075-222-3450 FAX 075-222-3426

令和8年2月発行 京都市印刷物 第071970号



この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ!

